

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

1月下旬、東京で開催される集まりに出席するため、宿と往復の高速バスの予約をインターネットで検索する。会場が銀座なので

周辺を検索、30%割引キャンペーン実施中の三ツ星ホテルをリーズナブルな金額で予約する事が出来た。白馬・新宿高速バスでは、平成28年に開業した乗降場所の新宿駅南口に位置する「バスタ新宿」が初利用でぜひ見学したい場所だった。

乗車場所の白馬

町の待合室では、白馬岩岳の宿泊施設経営の夫婦が、アジア系のお客様の見送りに。グループは、子供たちが大半。別れ際、まるで自分達の子供との別れを惜しむかのような場面に、滞在中のお客様

## 地域から旅する事で地域との関わりのある現場が見えてくる

とれてしまう。帰りは相席のタフレット情報、すかさず運転手が「本日は使用しない席がありますので、宜しければ使用して旅を楽しんでください」との案内。スタッフにとっ

ては当たり前で、その漢字を当てたのか

東京オリンピック・パラリンピック

を着用の人さかりと予想したが、着用者は1割にも満たない驚く程少ない着用率。高知新聞のコラム小社会が、江戸時代はインフルエンザを漢字で「印弗魯英撒」と表記。どうしてその漢字を当てたのか

の出来事の積み重ねが素晴らしいと思ったのだろうと心温まる。帰りの「バスタ新宿」のバスターミナル形式で各階から発着する行き先が異なるバスやタクシーの連携運営は驚く程のスムーズさに見

のたろうが、旅行者にとっては、心に届くフレセントに感心する。滞在2日間、観光旅行以外では久しぶりの東京体験。好奇心も手伝って都内を移動する。インフルエンザの猛威の情報で、マスク

は不明だが、インドやフランス、ロシア、イギリスからまき散らされた病とも読めると紹介した。2月上旬までがピークとされるインフルエンザ。マスクの着用など基本的な感染症対策がなぜ実践されないのかと思ってしまう。

感じる見えたえ十分な場所だった。地域を熟知しない為もあり、徒歩や電車・地下鉄・バスを利用しての移動は、都会馴れない私にとって大運動量に。大会開催時には大混雑も予想される。老若男女の気軽な観戦ができれば、都会馴れない私に残った。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



「バルカウンター」の酒の匂いが気になる。どんなお客様が対象なのだろうか